

# EBC(Evidence-based Control)研究会ワークショップ 2021のご案内

日時 2021年9月15日(水)10時~15時15分

場所 オンライン(Zoom)にて開催

参加申し込み 下記事務局に8月27日(金)までに電子メール【宛先:茨城県農業総合センター園芸研究所 小河原孝司(t.ogawara@pref.ibaraki.lg.jp)】で申し込みをお願いします。なお、電子メールの件名は、「EBC ワークショップ参加:本人氏名」として送付願います。申し込みをされた方には、会議参加のURL(ミーティング ID・パスコードなど)および講演要旨(PDF)をダウンロードできる方法を電子メールにてご案内します。

参加費 無料

## プログラム

第一部 病害防除研究の基礎と実践

10:00~10:45 「病害研究における圃場試験・データ解析・論文執筆について」

川口 章【(国研)農研機構・西日本農業研究センター】

各研究機関も世代交代が進み、新たに病害研究を始める方も増えてきたと思います。今回はビギナー向けに、これまでワークショップで紹介してきた圃場試験、データ解析の基礎を簡単に解説します。

座長:小河原 孝司 (茨城県農業総合センター園芸研究所)

11:00~11:45 「エビデンスメイクに役立つ統計解析」

田代 暢哉【一般社団法人プラントヘルスケア研究所】

エビデンスは信頼性の高いものでなくてはなりません。信頼性を担保するために統計解析が必須です。今回、エビデンスメイクに最低限必要な解析センスと手法について紹介します。今日から統計解析に対する抵抗感がなくなり、ビギナー卒業です。

座長:池田健太郎 (群馬県農業技術センター)

11:45~13:00 一昼食・休憩

13:00~13:45 「タマネギべと病の大発生による産地の危機

~共同研究と行政・普及が一体となりV字回復に至った取組みの成果~」

井手 洋一【佐賀県農業試験研究センター】

2016年春、西日本一帯のタマネギ産地でべと病が大発生し、大問題となりました。この危機的状況を受け、共同研究事業がスタート。短期間でべと病の新たな防除体系が示されるとともに、行政、普及一体となった取組みにより、産地はV字回復をとげました。

座長:岩館康哉 (岩手県農業研究センター)

第二部 ショートトーク

14:00~14:20 「新規殺菌剤インピルフルキサムの特長」

倉橋 真【住友化学株式会社】

14:20~14:40 「パレード20フロアブルのセルトレイ灌注処理による病害防除」

長谷部 元宏【日本農薬株式会社】

14:40~15:00 「水稻種子処理剤による病害虫防除技術」

内田 聡【バイエルクロップサイエンス株式会社】

座長:山下 将武(JA 全農)

15:00~15:15 総合討論 川口 章【(国研)農研機構・西日本農業研究センター】

参加申し込み・問い合わせ先:

研究会事務局 茨城県農業総合センター園芸研究所 小河原孝司(t.ogawara@pref.ibaraki.lg.jp)